

放課後児童クラブと放課後KIDSルームの取組み及び現状と課題

【放課後児童クラブ】

背景

○女性の社会進出の増加 ○共働き世帯の増加 → 利用児童数の増加

現状

- H31年度より補助事業→委託事業へ
- 市が事業主体となり質の向上を目指す
- NPO法人 6法人 26校
- 社会福祉法人 5法人 13校
- 株式会社 3法人 6校

利用児童数の推移

H30年 3914人 → R1年 4305人 → R2年 4881人 → R3年 5352人 → R4年 5844人 → R5年 6325人 → R6年 7344人

課題及び解決策の方向性

施設の確保

- (1) 学校内施設等の確保 (児童の安全)
- (2) 学校近隣の公共施設の確保
- (3) 学校近隣の民間施設の借り上げ

【放課後KIDSルーム】

現状

- 市内小学校全45校中24校で開設済
→今年度は3校で開設予定。(計27校)
- 「松戸市子ども総合計画」では年間3校開設と位置づけているが、学校との協議が整い次第、前倒しで開設していく。

放課後子ども総合プラン「文部科学省」※一部抜粋

すべての児童を対象とする共通プログラムの実施
→学習支援(宿題の指導、予習・復習・補充学習等)

課題及び解決策の方向性

施設の確保

- 余裕教室の確保

(1) 学校内施設等を借用するための課題

① 余裕教室等の確保

- 2階・3階の余裕教室等の活用
(機械警備設定、他学年の授業への影響)
- 恒常的に余裕教室等の活用
(借用教室等が普通教室に変更する場合)
- 英語ルーム・児童会室・PTAルームの活用
(学校活動等との調整 ※活動終了後に借用)

② クラブ・KIDSルームの備品管理場所の確保

- 常時備品の管理

③ エアコンの設置

- 早急な設置 (室外機の設置場所の確保・電源の確保)